

洪水について

洪水ハザード

洪水災害とは？

洪水

洪水とは、雨などにより川の水量が普段より著しく増えた状態をいいます。
河原へ行くと広い敷地のわりに中心部しか水が流れていません。これが通常の姿です。
ところが、川幅いっぱい水がおよせると、広い河原も水の下にかくれて見えません。このように異常に水が増えたときを「洪水」といいます。

氾濫

氾濫とは、雨などにより、住宅地や農地などに水があふれることをいいます。川から水があふれることを「外水氾濫」といいます。
川から水があふれるのではなく、住宅地や農地に降った雨がそのままたまってあふれることを「内水氾濫」といいます。

水害

水害とは、水によって起こされる災害のことで、外水氾濫も内水氾濫も水害と呼ばれます。
ただし、海水による水害の場合は、高潮災害、津波災害といった呼び方をされます。

水位等に関する情報

雨量観測所

河川名	観測所名	所在地
旗川	作原(国)	作原町818
秋山川	常盤(国)	仙波町331-1
秋山川	安蘇庁舎(県)	堀米町607
秋山川	山越(県)	山越町443-2
秋山川	秋山台(県)	秋山町721
旗川	長谷場(県)	長谷場町217-6
出流川	市の沢(県)	赤見町564-1
彦間川	打越(県)	飛駒町3587-1
彦間川	北大綱(県)	下彦間町2647
その他	葛生(気象)	豊代町2167
その他	佐野(気象)	田沼町136-6

水位観測所・水位計

河川名	観測所名	所在地
渡良瀬川	渡良瀬川#26.75KPH近	高橋町
三杉川	三杉川排水機場(外)	高山町
三杉川	三杉川排水機場(内)	高山町
三杉川	願成寺橋	越名町
秋山川	伊保内新橋	大古屋町
秋山川	大橋	大橋町
秋山川	葛生大橋	葛生西
秋山川	岩鼻橋	水木町
菊沢川	菊沢川排水機場(外)	船津川町
菊沢川	菊沢川排水機場(内)	船津川町
菊沢川	菊沢川橋	堀米町
菊沢川	田島橋	田島町
旗川	高田橋	村上町
旗川	白旗橋	免鳥町
旗川	稲岡橋	並木町
小菅戸川	槐橋	葛生東
彦間川	大綱橋	閑馬町
才川	羽田大橋	下羽田町
その他	沼縁樋門	越名町

河川ライブカメラ

河川名	河川ライブカメラ	所在地
渡良瀬川	渡良瀬大橋	船津川町
秋山川	伊保内新橋	大古屋町
秋山川	大橋	大橋町
秋山川	岩鼻橋	水木町
菊沢川	菊沢川橋	堀米町
旗川	出流川水門	村上町
旗川	高田橋上流	村上町
旗川	白旗橋	免鳥町
旗川	稲岡橋	並木町
小菅戸川	槐橋	葛生東
才川	羽田大橋	下羽田町

リアルタイムの雨量は、栃木県HP、リアルタイム雨量河川水位観測情報で確認できます。



河川の水位やライブカメラは、川の防災情報で確認できます。



洪水浸水深と家屋倒壊等氾濫想定区域

想定最大規模の洪水浸水深 色の見方と目安

5.0m~10m未満	2階の天井を越えて浸水する
3.0~5.0m未満	1階の天井から2階の天井近くまで浸水する
0.5~3.0m未満	1階の床から1階の天井まで浸水する
0~0.5m未満	1階の床下まで浸水する

家屋倒壊等氾濫想定区域

凡例	避難行動
氾濫流 木造家屋の倒壊等をもたらす氾濫流が発生するおそれのある区域	木造家屋が倒壊するような堤防決壊等に伴う氾濫流が発生するおそれがあることから、早期の立退き避難が必要。
河岸侵食 家屋の倒壊等をもたらす河岸侵食が発生するおそれのある区域	家屋が倒壊するような河岸侵食の発生するおそれがあることから、早期の立退き避難が必要。
家屋が水没するおそれのある区域 	最上階も浸水するおそれがあることから、早期の立退き避難が必要。
その他の洪水浸水想定区域 	床上浸水または床下浸水が想定される。原則として、屋外への避難が必要であるが、自宅で安全が確保できる場合は、2階への垂直避難でも良い。

土砂災害について

土砂災害ハザード

土砂災害警戒情報が発表されていなくても、普段と異なる状況「土砂災害の前兆」に気付いた場合には、直ちに周りの人と安全な場所へ避難してください。日頃から危険箇所、避難場所、避難経路を確認しておくことが重要です。

急傾斜地の崩壊 (がけ崩れ)

急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)とは、地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。

「山鳴り」といって、山全体がうなっているような音がする

沢や川の水が濁ったり、流木が混じっている

がけ崩れ発生

土石流

山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20~40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などに被害が発生します。

土石流発生

地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に地面が大きなかたまりのまま動くため、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。

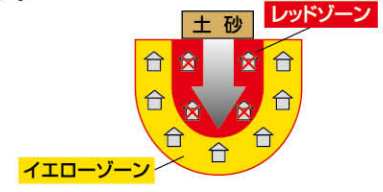
地すべり発生

※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるといえるものではありません。普段と違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

危険箇所内の重要性の高い箇所について

土砂災害防止法に基づき、栃木県が計画的に基礎調査を実施し、危険箇所内の重要性の高い箇所について、「土砂災害特別警戒区域」と「土砂災害警戒区域」の指定及び見直しを行っています。

土砂災害 特別警戒区域(レッドゾーン)	建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがある区域
土砂災害 警戒区域(イエローゾーン)	土砂災害が発生した場合、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがある区域



避難をする際は、土砂災害警戒区域を迂回するようにしましょう。土砂災害警戒区域をやむを得ず通らなければならない際は、早期の避難をしましょう。

土砂災害の予防策

- ◎日頃から避難する場所や道路などを確認しておきましょう。
- ◎所有地内ががけがある方は、がけの周辺を見回り、次のようなことを心がけましょう。

とっさの避難!

がけの近くの家にいる場合は、できるだけがけから離れた部屋へすぐに移動!

水平避難

垂直避難

斜面の状態の変化に十分注意しましょう。

水路はゴミを掃除しておきましょう

風でゆれる大きな木は地面をゆさぶらないよう枝を切りましょう

雨水をがけに流さないよう水路を造りましょう

落ちそうな岩や土のかたまりは除きましょう

がけの危険な部分はビニールなどで覆い、雨水の浸みこみを防ぎましょう

こわれた石垣などは修理や補強をしましょう

崩れそうな所は木や板の柵、石積をしましょう